



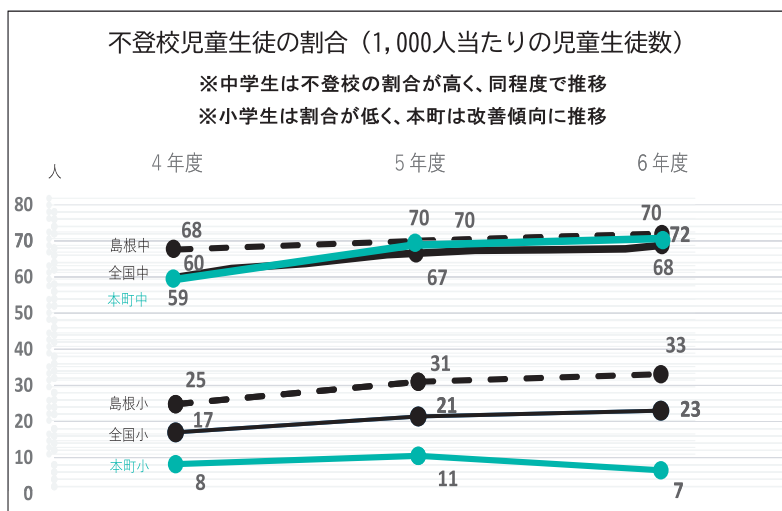
う ち だ ひろのり
内田 裕紀 議員

質問

現在の不登校児童生徒の数は

教育長

中学生が12人小学生は0人



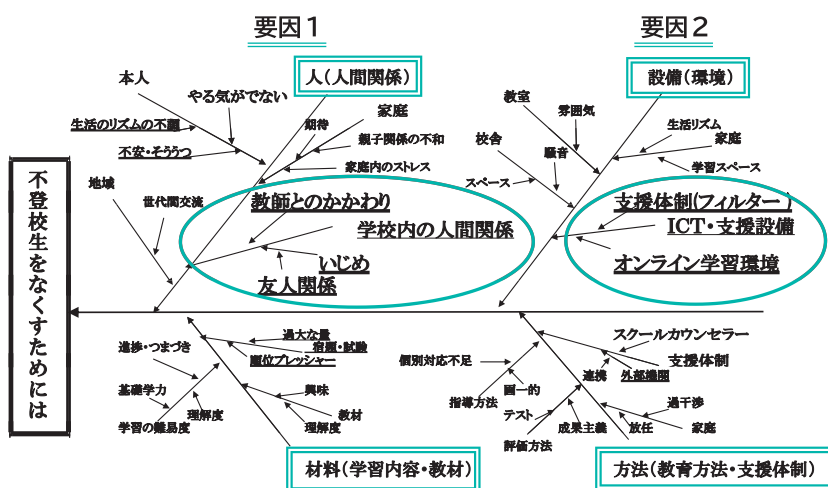
質問 令和6年度に小中学校において年間30日以上欠席した児童生徒は12年連続で増加し、35万人。島根県も9年連続で増加し、小学生は1052人、中学生は1349人で、本町の小学生は2名減の17名である。（左記グラフ参照）

質問 現在の不登校児童生徒の数とその対策については。

教育長 不登校の現状について本町はもちろん島根県や国においても大きな教育的課題で、憂慮すべきことだ。

この実態についての評価は。

不登校児童・生徒をなくすためには(4M分析による特性要因図)



教育長 令和7年度について小学生は0人、中学生が12人で校内教育支援センターかたくりや雲南市おんせんキャンパスを利用。さらに学校では家庭訪問や電話連絡等速やかに実施している。

質問 不登校の要因のひとつが「いじめ」。全国では77万人が認知されている。本町で「いじめ」はあるのか、またその対策は。

教育長 本町の小学校、中学校で「いじめ」を認知している。

質問 2つ目の要因として「ICT教育」がコロナ禍で急速に進展した。児童生徒の安全性を目的にフィルタリング機能を設けているが、ネット上での誹謗中傷も懸念される。情報リテラシー教育そして情報モラル教育は。

教育長 情報モラルやSNS活用についての学習が発達段階に応じて行われている。保護者向けにもネットリテラシーやメディアとの付き合い方について講演会も実施している。

※ネットリテラシー正しい情報を選ぶ力